

Made in England

アンティーク家具修復士の挑戦

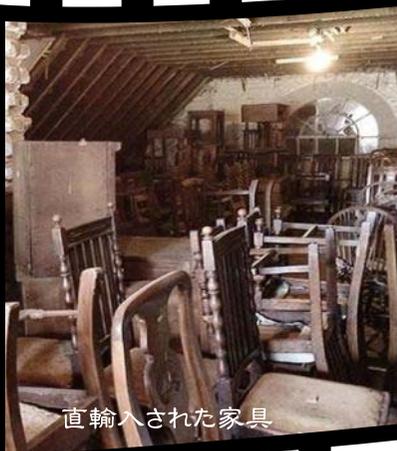
Repair in Okazaki

岡崎で生まれた新しい価値観

現代の日本では、新しく機能的な家具が好まれる傾向にある。一方でイギリスでは、家具は歴史あるモノに価値があるとされ、長く人々に親しまれている。ここ岡崎には、100年前の家具とその家具を造った職人、その時代の人々の暮らしに思いを馳せ、現代の日本の生活様式にあった心地よく機能的な新しい家具に魅らせてくれる、そのような「新しい価値観」に気付かせてくれるお店がある。「アンティーク家具修復士の知恵と技」を後世に伝えたい。

100年愛される家具のツナギテ

ヘッブルホワイトでは、2人の「アンティーク家具修復士」の資格を持つ職人の手によって約100年前の伝統技術が甦っている。主にイギリスを中心としたヨーロッパの家具を直輸入し、専門の修復士が丁寧に本来あるべき姿にリペアしている。それは、19世紀にウィリアム・モリスが起こした「アーツ・アンド・クラフツ運動」の考えによるものである。この運動は、「手仕事や手作りのモノを大切にする」という考えのもとに生まれた運動である。傷の修復や布の張替えなど隅々までこだわってリペアしている。100年愛された家具が次の100年も愛される家具であってほしい。そんな想いを込めて1つひとつリペアし、人類の資産としての価値を生み出している。



直輸入された家具



家具修復士によるリペア



リペアされた家具

“リペア”家具のデザインはそのまま、元姿に戻すこと

